

平成 30 年度 松田町総合戦略審議会 議事録

1. 日 時 平成 31 年 2 月 26 日（火）14:00～16:15
2. 場 所 役場 3 階 防災対策室
3. 出席者 別紙「名簿」のとおり
4. 配付資料

松田町総合戦略審議会設置要綱 ・ 松田町総合戦略審議会名簿

松田町総合戦略（平成 29 年 3 月改訂版）

資料 1 町長と語ろう！地域をデザイン！協働と挑戦のまちづくり
座談会資料

資料 2 松田町第 6 次総合計画基本構想（案）

資料 3-1 松田町総合戦略の評価（案）

資料 3-2 地方創生関連交付金事業の評価（案）

資料 4 松田町の人口推移について

-
1. 開 会
 2. 委嘱状交付
 3. あいさつ
 4. 議 事

（1）地方創生等に係る取組み状況について

事務局より説明

会 長： ただ今の説明に関しまして、質問等ありましたらお願いします。
質問等は特になさそうなので、次の議事について説明をお願いします。

（2）松田町第 6 次総合計画について

事務局より説明

会 長： ただ今の説明に関しまして、質問等ありましたらお願いします。
質問等は特になさそうなので、次の議事について説明をお願いします。

（3）平成 29 年度 地方創生事業の評価について

① 松田町まち・ひと・しごと創生 総合戦略の評価について

事務局より説明

会 長： ただ今、事務局から 2 次評価に関する説明がございましたが、委員の皆様、いかがでしょうか。

委 員： 1 ページの「空家の利活用物件数」について、29 年度目標を倍以上上回

る 11 件となっているが、28 年度の 2 件に比べて 9 件の増となっている。
この利活用内容はどのようになっているのか。

事務局： 定住少子化対策室ができたのが、平成 26 年。そこから、本格的に取り組み始めたが、29 年度はさらにその取り組み件数を増やすため、宅建協会と協定を締結し事業に取り組んだところ、取り扱い物件数も増えた。8 割程度がアパートとなっている。

委 員： 評価の仕方については、「概ね順調に進んでいます」が適切なのか。
また、「平成 27～31 年の 5 年間における社会移動数」という数値目標もだいぶ好転しているが、このあたりとの関係性もあるのか。

事務局： 1 点目の評価については、確か神奈川県の評価手法を取り入れているところで、少し曖昧な言い回しとなっている部分もあるかもしれないが、ご容赦いただければと思います。

また、社会移動数については、外国籍の短期滞在の方々の出入りがかなり影響している。

会 長： それでは、2 次評価については、●（まる）4 つの事務局案のとおりでよろしいでしょうか。

委 員： 意義なし。

会 長： 続いて、項目Ⅱの「若い世代が安心して、子どもを産み育てられる環境づくり」については、いかがでしょうか。

事務局案のままでよろしいですか。

委 員： 意義なし。

会 長： それでは次の項目、「Ⅲだれもが快適に暮らせる環境づくり」については、いかがでしょうか。

これは、●（まる）3 つの「概ね順調に進んでいます」となっていますので、「順調に進んでいます」との違いあたりがポイントでしょうか。

「新松田駅・松田駅における定期外乗車人員数（年間）【新松田駅】」の数字が伸びているようですが、小田急電鉄さんとしては、実感がおありでしょうか。

委 員： 実感としてはそこまで感じられないですね。

ただ、年間を通じて、登山のお客様が aumentando ということは実感として感じています。

委 員： ちょっとよろしいでしょうか。「定期外乗車人員数」とは何でしょうか。

委 員： 例えば、買い物などのために切符などで乗車されるお客様など、定期以外でご利用される方々のことです。

会 長： ③の「健康・福祉」は重要だと思うんですが、この辺はいかがでしょうか。また、自治会への加入率も下がっているようですが、まあ、特に問題なさそうであれば、●（まる）３つの「概ね順調に進んでいます」でよろしいでしょうか。

委 員： 意義なし。

会 長： 問題は、●（まる）２つの「Ⅳ松田町の活力につながる産業・交流づくり」ですが、ここは皆さん、特に、金融関係のさがみ信用金庫さん、いかがでしょうか。

委 員： 創業支援などが利用しやすい環境となってはいますが、それが起業数には直接結びついていないのかなと感じます。

会 長： 観光の方はロウバイまつりなども順調ですので、問題ないかと思いますが、タウンニュースさん、いかがでしょうか。

委 員： 特に情報っていうのはないんですけど、例えば、観光メールの登録者数が伸び悩んでいると言っておられますが、そんなに飛躍的に伸びるものでもないで、概ねというか、順調なんではないでしょうか。理想通りにはいかないですからね。

会 長： まあ、あまり甘くなってもいけないですからね。

委 員： ①農林業についてですが、「農業産出額」について、目標値に対してもだいぶ右肩上がりですが、その数値の算出にあたっては、何を根拠にされていますか。松田町の農業者を想定するといったどこから引っ張ってきたのかなと思います。

事務局： これは、県の平成 28 年度市町村別農業産出額から引っ張ってきています。目標は、平成 26 年度の実績をもとに算出していると判断しています。

委 員： それではこの実績は農業白書などの数字ということですよ。

事務局： そうです。特に、町単独での数値の算出などは行っていません。

委 員： ちなみに、「松田ブランド認定品の売上額」なんですが、これは「さくら鱒の燻製」のことになるんですよね。

事務局： そのとおりです。

委 員： 目標値がだいぶすごいことになっていますが。

事務局： この当時はだいぶ強気の数値を設定したようです。販路拡大などを十分に考えた上での設定かと思いますが、なかなか困難な数値と考えています。

委 員： 先ほど来お話が出ている「農業産出額」について、もともとは総合戦略上で「農産物販売金額（農林業センサス）」となっていたはずですが、そのあたりの説明が漏れているのではないのでしょうか。

事務局： おっしゃる通り漏れており、申し訳ございません。このK P Iにつつま

しては、もともとは農林業センサスの数値を設定していましたが、それでは数値を毎年追うのが厳しいということで見直しをさせていただきたいと考えております。

しかしながら、この戦略の変更にあたりましては、やはり審議会での審議が必要と考えますので、ここでご審議賜れればと考えております。

平成 29 年 3 月の改訂にあたりましても、委員の皆様にお諮りして変えさせていただいた経緯があります。大変申し訳ございません。

会 長： どうでしょうか。

事務局： 会長、この数値に関しましては、やはり 5 年に一度の農林業センサスでは毎年数字を追うことができないので、変更をお願いしたいと思います。

会 長： それでは、ここで K P I を変更するとしてよいでしょうか。

委 員： いや、その前に、この数字の妥当性などについて、事務局から説明をお願いしたいと思います。やはり先ほど J A さんの方からもこの数字はどこから持ってきたのかなど、気になるようでしたし、そこは行政として、いやこの数字が適切なんだということを説明いただければ、それでという風にはならないかと思います。

会 長： ではその辺をもう少し説明いただけますか。

事務局： それでは、少し提案をさせてください。もともと総合戦略上の数値として入っていたものを変更するのではなく、この審議会に進捗を追うための数値として、農業産出額を利用するという整理ではいかがでしょうか。

まあ、それにしても、数字の妥当性というところはあろうかと思いますが、例えば、もともとの数値を達成するために必要な割合などを踏まえ、設定するなど、機械的にはなってしまいますが。

会 長： 荻野さんいかがですか。

委 員： まあ、先ほど言ったのは、やはり実感が湧かない数字になっているなと思ったところ。例えば、人・農地プランでどのように農地を活用していくか、また、地域資源を活用して、付加価値を付けて六次産業化とかがあるんだとすれば、違う捉え方もあるかと思う。無理だとは思いますが、例えば、桜まつりの時にいくらお金が落ちたのかなど。全部が全部農林業ではないかもしれないが、人の動きとお金の動きなどの方が、億単位で示すより、実感が湧くのかなと思う。

農業だけの生産額で、本当に松田町はこれだけあるのかなというところ。

会 長： それでは、これはこの場でこれ以上議論できないので、事務局で担当部局と調整してもらって、K P I をどのように整理するのか、根拠を示してもらって次年度に繋げられるよう宿題としたい。

評価については、案のまま、●（まる）2 つの「やや遅れています」で

いかがでしょうか。

事務局： はい、ありがとうございます。

会 長： 次に、資料３－２「地方創生関連交付金事業の評価について」事務局より説明をお願いします。

（３）平成 29 年度 地方創生事業の評価について

② 地方創生関連交付金事業の評価について

事務局より説明

会 長： それでは、この３つのプロジェクトについて、ご意見等をお願いします。

委 員： YHVのブランド品等の「売上額」がかなり目標値と離れていますが、このあたりは、先ほども話が出ました観光客数は伸びているが、特産品の販売額が伸び悩んでいるということと関係性があると思うが、その辺はどのようにお考えか。

事務局： ドッグランにお客様は遊びに来ていただいているが、モノを買っていただけていた部分が、やはり商品開発はしているものの、商品化して売りに上げる事ができていないところがこのような結果になっています。

それと、補足ですが、民間の指定管理者に移行するまでの間、集客対応など、全体的なタイミングが稼ぐところまで結びつけることができなかったと担当からは聞いています。

今年の１月１日から指定管理者へ移行したが、ドッグランの営業に注力してしまい、物販までは追いつかなかったのも、しっかり頑張っていただけという期待したいと思います。

会 長： ドッグランについては、数字が伸びていないと感じますが、しっかりと頑張っていたかと思いますが。そういったことで事務局案のままでいきたいと思いますが。

次に、「若い世代が安心して、子どもを産み育てられる環境づくり」に行きたいと思いますが、この辺りは私も実感として、だいぶ色々な委員会等に女性の登用も増えてきているなど感じますし、●（まる）４つの「順調に進んでいます」でよろしいかと思いますが、いかがでしょうか。

また、その次の「県西地域活性化プロジェクト推進事業」については、せっかく完成したので、もっと活用してほしいと思いますが。

タウンニュースさん、県西地域全体で見て、松田町はいかがでしょう。

委 員： 難しいですけど、概ね順調で問題ないと思います。

会 長： その他の方、いかがでしょうか。

事務局： 先ほど、説明があったとおり、クライミングの工事自体が遅れてしまっ

た影響があるということを考慮すると、「概ね順調に進んでいます」というのも、どうなのでしょう。

会 長：　ここは、事務局、●（まる）2つにしませんか。ここは私も、複合拠点の審査会の会長もやっていますが、遅れている感じを受けております。

委 員：　一般開放までは至っていないんですよ。

事務局：　会長もおっしゃる通り、一部やはり遅れているのは事実です。

会 長：　そういうことで、ここは来年度に期待したいと思います。

これで総合戦略と交付金事業の評価を終わらせていただきます。

最後に、県の方からお話をいただきたいと思います。

委 員：　それでは、まず事務的なお話からさせてください。去年も確か指摘させていただきましたが、「Ⅲだれもが快適に暮らせる環境づくり」の中で、「④地域活動〔手作りの活動への支援〕」に記載のあるK P I「地域懇話会への参加者数」以下は、「⑤町民参加」として切り分けて整理すべきだと思いますので、よろしくお願いします。

それと、この1次評価については、各事業担当課が判断したものをそのままホチキスしているのか、それとも、交付金担当課の政策の方で、全体のバランスを見て評価しているのか、どうなのでしょう。

事務局：　評価は一律に政策で行わせていただいています。各所属からは、数字として挙げていただくのと、それぞれの実態として、どのようなことがあったのかなどをレポートとして、提出いただいている。

委 員：　ということは、全体を見た中で、甘い辛いという部分を考慮して、全体をバランスよく評価を行っているということでしょうか。

やはりK P Iの設定自体が色々と、すべての評価が横並びというわけではないところが、各委員さんも難しい部分ではないかと思います。すべての項目が同じように重要なのか、そこまで重要ではないよねなど。かなり悩んで評価を付けられているのだろうと。それは受け止め側の判断になってしまうので、もう少し判断の基準などをお示しいただけるとやり易いのかなという感想を持ちました。

それぞれの委員さんの専門的知識などもあるかと思いますが、去年の議事録などもいただけていないかと思うので、私も今回の参加にあたり、去年の議事録を確認しようかと思いましたが。だいた議論も重複する部分もあり、そのあたりを時系列的に追うこともできますので。今回は委員さんもかなり変わられているので、分からない部分も多いかと。

まあ、これだけのことをまとめられるだけでも大変だろうと分かっていると言ってしまって申し訳ないが、よろしくお願いいたしますと思います。

ところで、29年度と30年度の数値については、どのように整理してい

るんでしたっけ。

事務局： 30年度の数値についてはこれから把握していくんですが、この審議会の時点では、まだ把握できない数字もあるので、その辺を踏まえて、少しご審議をいただいたという体がとれればと思います。

委 員： やらなければいけないことをしっかりやっているということは伝わってきていますので、大きな祖語はないものと考えますが、今日も色々と議論があった数字については、やはり目がいくのでテコ入れしなければならない部分ということで考えていかなければいけないのかなと思うところです。このような感じで、私からの講評とさせていただければと思います。

会 長： ありがとうございます。県西地域全体から見た松田町としてはいかがでしょうか。

委 員： 資料にある「社会増減」を見ると、なかなか改善されるK P Iではないのに、入込観光客数もそうですが、やはり各取り組みがプラスに働いているのかなと思います。やはり北の玄関口と町長もよく仰っていますが、松田町が元気でないとこの地域全体が元気でなくなってしまうので、桜まつりなど観光面でもしっかり頑張っていると思います。

未病というものも地域の活性化にどのようにつなげていくか。松田町さんにもご協力をいただいています。

5. 閉 会

